



もっと元気な安佐北区へGO！

# まさクンの市議会通信

<発行> 広島市議会議員

山内まさあき  
事務所

(所属会派：市民連合)  
事務所：安佐北区口田1-6-1  
TEL 082-843-1972  
FAX.082-843-1986  
第3号/2012年1月発行

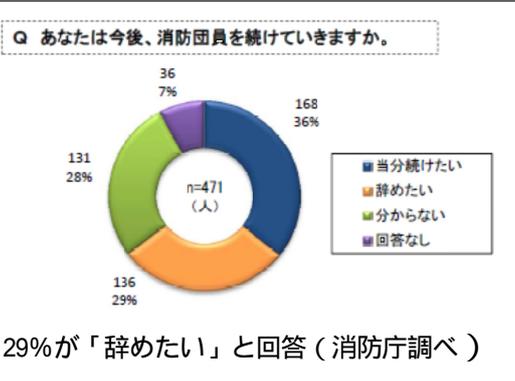


2011年度12月議会 補正予算13億4380万8千円の内訳	
財政調整基金への積立金	10億9,500万円
後期高齢者医療事業	2億2,778万8千円
消防団員等公務災害補償等共済事業	6,276万9千円
給与改定に伴う補正	4,267万3千円
伴福祉センター管理	92万4千円

## 12月定例議会(12月6日～16日) 消防団員等共済予算を増額補正

東日本大震災では、250名以上の消防団員の方が活動中に命を失われました。震災後、被災地では左のグラフのように「続けていくのが難しい」という団員が増えていきます。大震災の教訓の一つとして、消防団員への補償制度の充実強化が求められます。

広島市議会では「消防団員等公務災害補償等共済事業」の増額補正が可決されました。これは、



広島市では2700名以上が所属

### 市民連合の質問

(質問) 消防団員の惨事  
ストレス対策は、どのよ  
うになっているか？

市町村が共済基金に掛金を支払い、消防団員が公務災害を被った場合に、補償にかかる費用が共済から市町村に補てんされる仕組みで、広島市でも掛け金引き上げのため、増額補正されました。市民連合は消防団員の支援強化を求めました。

(答弁) (財)日本消防協会と総務庁消防庁が共同で、専門家によるメンタルケアサポートチームを被災3県に随時派遣する事業を行っています。本市においても、同様に対応したい。

(質問) 消防団員の処遇改善を検討する組織はあるのか？  
(答弁) 消防団員の処遇については、国が基準を示し、市町村はその基準に基づいて整備します。本市には8つの消防団があり、各団ごとに会議がある。消防団員の処遇についてこれらの会議で検討して参りたい。

# 事務 事業見直し65項目が 各常任委員会に報告

松井市長は『選択と集中』を掲げ、事務事業の見直しを進めています。昨年11月には「事務・事業の見直し検討の中間報告」が、市議会に提示されました。

これは広島市の4千以上の事務事業を、事業目的とあっているか？事業のやり方が有効か？

事業に広島市が関与すべきか？ の3つの観点で見直しが行われるものです。時代に沿うよう、制度のチェックは大切なことです。一方で『選択と

集中』の言い訳のもとに、

ますます必要な施策までも廃止される懸念もあります。例えば本市では高齢化が進展する中で、公共交通が果たす役割が高まっています。その時代の流れに逆行してこの度、「公共交通機関利用助成金」が見直し検討項目にあがっています。

何が選択され、何が見捨てられるのか、市議会は厳しくチェックをせねばなりません。以下、主な見直し項目について、市議会における議論を交えてご報告します。

## 見直し事業例 高齢者公共交通 機関利用助成

これは満70歳以上の方に、パスピーやJR回数券引換券などの公共交通機関の料金を補助する制度です（所得制限あり）。高齢者の社会参加を推進し、外出のきっかけとなるよう平成5年に始まりました。

### 主な公共交通機関利用助成(年間)

パスピー	6000円まで (利用実績払い)
JR回数券引換券	1400円×3枚と 1250円×1枚 = 5450円
タクシーチケット	500円×12枚 = 6000円

### 議員による質問

(質問) 高齢化が進む中、これは廃止すべき事業ではないと思つが、どうか？

(答弁) 通院や食料品の買物など、日常生活を送る上で必要な外出の費用に使われることは、事業の目的に沿った使われ方ではない。

しかしながら、実態として、そうなっているとすることは考慮しなければ

### 山内議員の考え

「社会参加ではなく、日常生活に使われるのは、本来の事業目的と違う」というのが市の主張ですが、そもそも買い物に出かけるのも社会参加の一部ではないでしょうか？

また、今後はマイカーを手放す人が確実に増えるのに、この制度を縮小してしまつては、住民サービスが損なわれるばかりか、街もにぎわいをなくします。十分な所得がある人は対象外とするとしても、制度存続の方向で検討すべきです。



バスや電車運賃の補助存続を！

### 見直し事業例 水洗便所設備 資金貸付制度

くみ取り式トイレを水洗式トイレに改造する世帯に、工事資金を無利子で貸し付ける制度で、1戸あたり52万円以内を借りることができる制度です。今回の報告では、「本市でのトイレの水洗化率は約95%に達している」などを理由に、2012年度末で制度を廃止してはどうかと、消防下水道委員会で説明があり、市民連合の議員は次のように、反対（制度存続）の立場で、質問を行いました。

### 市民連合の質問

（質問）この制度が廃止されれば、資金的な理由で水洗化工事ができなくなる方がいると思われる。それでも廃止するのか？

（答弁）生活扶助を受けられている方には他の無利子の貸付制度がある。また世帯年収200万円以下の方は社会福祉協議会の無利子貸付制度を利用できる。

（質問）それらの制度は以前から周知されていないから、今回見直し対象となっている制度も2011年度で185世帯が利

用している。この状況で廃止は反対である。

### 山内議員の考え

「95%の水洗化が完了」といっても広島市ではまだ3万8千世帯が未水洗化で、そのほとんどが安佐北区内です。理由は、「下水道本管が来ていない」「土地の権利関係の問題で下水道本管に接続できない」などさまざまですが、うち6千世帯はこれから水洗化される予定で、制度が途中で廃止されるのは不公平です。また、河川汚染など環境面から考えても、下水道の更なる整備が求められ、制度継続が必要です。

### 見直し事業例 競輪事業

施設の老朽化にともない多額の改修費用が見込まれることなどを理由に、競輪事業も見直しの対象となっています。

### 山内議員の考え

広島市の競輪事業は、選手だけでなく400名以上の人がそこで働いておられます。多くの人の再雇用先は、どうなるか？という問題を抜きにして、進めることはでき



競輪事業の検討は再雇用先の確保を前提に！

ません。市民連合は、委員会や本会議でもその点を追及していますが、議会内では賛否両論があります。

もし廃止の方向になるのならば、再雇用先の確保は絶対に必要ですし、取り壊しにはどれくらい経費がかかるのか、跡地はどのように活用するのか、市民益にも配慮した十分な議論が不可欠です。

# 国会議員へ要望書提出 矢口川の内水氾濫対策等について



国会議員へ広島市の要望事項を説明する  
山内議員（衆議院第一議員会館にて）

11月24日に市議会・大都市税財政対策等特別委員会で、国会議員への党派別要望を行いました。これは、広島市のほか、福岡市、仙台市、京都市、堺市など政令都市の市議

会議員が集まり、各都市の課題を各政党の国会議員に要望するものです。山内議員は日帰りで東京に出張させていただき、社民党の4名の国会議員（福島みずほ、重野安正、中島隆利、服部良一）に広島市が抱える課題を訴え、取り組みの強化を要請しました。下記はその要望の一覧です。

被爆者援護の拡充などかねてからの要望事項のほか、今年には矢口川の洪水対策が要望項目に追加されました。

## 2012年度 大都市税財政対策等特別委員会 広島市個別要望事項

- 1 原子爆弾被爆者に対する援護措置の拡充強化等（厚生労働省関係）
- 2 道路整備事業の推進（国土交通省・総務省関係）
- 3 広島駅周辺整備の推進（国土交通省関係）  
（二葉の里地区開発の推進 広島駅南口B・Cブロックの整備）
- 4 太田川における洪水対策及び支川矢口川の内水氾濫対策の促進
- 5 2020年までの核兵器廃絶に向けた取り組みの推進
- 6 エネルギー政策の見直し（経済産業省関係）



## 毎週日曜日に市民相談会を開催

毎週、下記の時間帯は必ず事務所におります。そのほかの日時は所要のため事務所にはない場合もありますが、いる場合は常時、受け付けております。

毎週日曜日 午後5時～7時  
場所：山内まさあき事務所（安佐北区口田1-6-1）  
TEL 082-843-1972 FAX 082-843-1986



## 原発と私たちの暮らし 市民講座報告

12月8日（木）に口田公民館で市民講座「原発とわたしたちの暮らし」を開催しました。講師は倉掛のぞみ園の園長で県ガン対策推進協議会委員でもある鎌田七男先生に講演をいただきました。

多くの皆さんとともに、内部被ばくなどについて学習を深めることができ、有意義な講座となりました。ご参加くださいました皆さま、ありがとうございました。

